卒業おめでとう　送る言葉

「人として大切におもうこと」
三組担任　辻　雅英 先生

卒業を迎えるにあたって、この三組らしさや良さを私はどこまで伸ばすことができたのかと自問自答しています。私は、みんなと過ごした三年間を通して様々なことを経験し、学びを得て成長させてもらったなと感じるばかりです。三組には本当にいろんな面々がそろっており、楽しかったなと感じています。

人が人として成長するとき、そこには人との関わりが大きくあると思います。そう思うと、どのような人との出会いも関わりもすごく尊いものに感じられます。

私は、誰とでも思いやりを持って接することを大切にしています。「情は人の為ならず」このことわざの意味を知っていますか。人に情けをかけておけば、いつかは巡り巡って、自分に良いことが回ってくる。「生きているということは、誰かに借りをつくること。生きていくということは、その借りを返していくこと。」みんな持ちつ持たれつ支えあって生きている。

これから先の人生において、人との出会いを大切にできる人となり、幸せな人生を歩んでください。今後ますますのみんなの幸せを切に願います。

「ご卒業おめでとう」
二組担任　野村　勝彦 先生

『時間に余裕を持って行動を』

時間に余裕がないときはミスを起こしやすく、いい仕事の敵です。講習や授業、出社するときだけでなく、いろんな期限も早めにやってしまうことを心掛けてください（と自分に言い聞かせています）。

『いろんなことに挑戦を』

失敗しても何か自分を高めるためにチャレンジすることは素晴らしいことと思います。「やればできる」という経験を積み重ねてください。

『親孝行』

海外でホームステイをさせてもらって思ったことは自分のことよりも育ててもらった親の幸せを一番に考えている人が多い。ステイタスシンボルが親孝行というのは素敵なことだと思いませんか。

『健康第一で』

これからのみなさんのご活躍を期待しています。

「信頼される大人に」
一組担任　大澤　由香士 先生

㊸年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この三年間は有意義でしたか。「㊟を取る」ということは、経験を重ね、人間的に成長することでもあります。あなた達は、三年前と比べ、成長できていますか。

㋑つも私は折に触れて、あなた達に伝えてきたことがあります。それは、社会で通用する礼儀であり、マナーです。

㋺いさなことをおろそかにすると、大きな失敗につながります。時間や約束を守るのは当然のことですが、もし守れなかった場合にどう動くかが大切なのです。事前に遅れる連絡を入れたり、期限に遅れる理由を伝えに行ったりできていますか。誠意のある対応がきちんとできる人は、「信頼」という大きな宝物を手に入れることができるはずです。

㋕るしい試練がこの先多く待ち受けていることでしょう。しかし、どんな時も誠実な態度で臨み、信頼される大人になってください。

㋷来に幸多かれと心から祈っています。

「幸せになる努力」
四組担任　川嶋　克典 先生

一年生のクラス替えから早二年半。どんなメンバーが集まるのかと不安に思っていた日から、このクラスで、そしてこのメンバーで良かったと心から思える今日のこの日まで本当に早かった。早送りのような毎日だったが、思い出は数えきれない。君たちを怒ったことも、君たちと笑ったことも、君たちと喜んだことも、そして、今日、君たちと涙を流したことも…この思い出が、この経験がまた私の人生を豊かにしてくれる。みんな、本当にありがとう。

なんて言葉でしんみりするなんて、川嶋組らしくないでしょ!?　最後だから聞くけど、進路のほとんどが第一希望で通ったのは誰のおかげ？課題研究を頑張った!!って思えるのは誰のおかげ？ポテトいやになるくらい食べれたのは誰のおかげ？今日、この日を31人で笑って迎えられたのは誰のおかげ？…そう担任のおかげ!!みんな思ってるよね!?だから最後の担任のお願いを聞くように！

「担任より先に逝くな！そして誰より幸せになれ！」

これを実行するには、この先も努力と我慢が必要になる。しかし、二年半を共に過ごした君たちなら胸を張って私は送り出せる。出席状況、考査、行事、進路実現、そして課題研究。どれをとっても一番だと思う！だからみんなも胸を張って八幡工業を後にして欲しい。

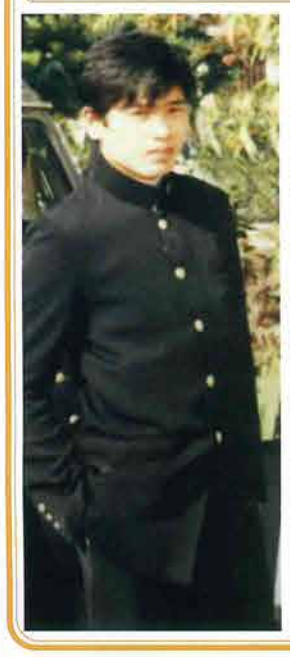
このクラスを持てたことは私の誇りである。だからいつまでも誇れる君たちでいて欲しい。

「以上」これで最後のホームルームを終わります。起立、礼、

「ありがとうございました」

「はい、やり直し!!」

「人生 何に投じるか」
学年主任　今井　健之 先生



工業技術基礎の教科書第一章には、技術者に求められる倫理とある。「人の技術者として社会に貢献する姿勢や社会の一員として責任ある行動をとるとともに、誠実にものごとに対処できる態度を身につけていることである。」また「技術者たるまえに　まず人間たれ」と言葉を紹介している。

三年間の工業高校で学んだことが今後に活かされることを期待します。人生は投じたものにしか返ってきません。人生に何を投じたか。その質と量が人生を左右します。そして、何をどう受け止めるかです。同じ話を聞き、同じ経験をしても、そこから受け止めるものは人により千差万別です。そして、受け止め方も大切です。高校時代の部活動や資格検定も同じように投じた質と量で結果は違ってきました。やってもいないことには、結果がでません。これから何に投じるかです。世の中が君たちを待っています。

「いま　素直に伝えたい思い」
五組担任　保崎　公彦 先生

人生初めての担任が五組でした。

この三年間本当に色んなことがあったはずなのに、素晴らしい思い出ばかりが胸を過ります。

それは過去が美しく映るものだからではなく、五組自慢の底抜けの明るさにいつもいつも救われていたからです。時に盛り上がり過ぎて収集がつかぬこともありましたが、個性豊かで、あたたかくて、パワーに溢れ、超が付くほど正直・素直で、そして意外と内弁慶なところもあって ―そんな愛すべき五組の皆と出会えたことを心から誇りに思い、感謝します。

毎回、他のクラスとは180度違う方向へ行きたがる体育祭・文化祭。どれも非常に思い出深いですが（文化祭のステージ発表は、練習含め何度笑わせてもらったか）、中でも最後の体育祭でパフォーマンス一位だったときは、感動してちょっと泣きました。

さて、四月からそれぞれの道へ進む卒業生の皆へ、まだ二十代の若造からではありますが餞の言葉を捧げます。「いつの時代の自分にも誇れるような生き方」をしてください。

『十代の頃は本当に楽しかったけど、今も同じくらい、もしくはそれ以上に幸せだ』そんな日々を過ごしていってください。皆のこれからの人生に、幸多からんことを心より願っています。

卒業おめでとう。

そして、「行ってらっしゃい」

「ご卒業おめでとうございます」
七組担任　平岡　博子 先生

卒業生の皆さんが誕生した時は、まさに世紀の変わり目で二〇〇〇年代の始まりでした。

Millennium!こんな事を言っていた頃から早くも18年が経ち、皆さんが高等学校卒業を迎えられたことに感慨を覚えます。

私の高校時代を振り返り英語学習を思い出しますと、辞書を読み、noizeの混じったラジオ番組を聞き、subtitleなしの洋画を見たり、レコードやカセットテープ英語の歌を聞き、歌詞の意味を考えたり。大学時代はタイプライターを使い、ワープロを持っている学生は少なかったと思います。これに比べますと、最近は英語学習が大変便利になっていることに驚きます。DVDやCDが手に入りやすく、素晴らしい音声で聞くことができます。多くの人がパソコンを使え、ネットで翻訳さえすることができます。そしてたくさんの外国人が日本に旅行に来てくれるなど、時代は大きく変わりました。

高等学校卒業後は、単なる知識やテスト勉強としての英語学習から脱し、現代の恵まれた英語学習の環境を活かして、英語で自分の言いたいことを伝え、相手の気持ちがわかるよう高めていってください。興味のある分野でいいのです。

二〇二〇年には日本でオリンピックが開催され多くの外国の方が日本に来られます。オリンピック観戦とともに英語を使ってさらに楽しんでください。人生の旅に英語も連れて行くといいと思います。

「卒業おめでとう」
六組担任　赤井　篤 先生

この三年間、皆さんには「時間を守ること挨拶をすること・掃除をすること・人の気持ちを考えること」など、毎日毎日小言ばかりを繰り返してきました。きっと「また言ってる…」と思っていたことでしょう。全員の就職先、進学先が決まった時は嬉しさと同時に心配する気持ちが湧きました。まるで親のような気持ちになっていたのかもしれません。

今日、皆さんは高校卒業というゴールを迎えますが、四月からは新たな生活をスタートさせます。社会に出るということは本当に厳しいもので、これからこそが日々勉強です。多くの成功や失敗を経験すると思いますが、その時には結果がどうであれ逃げないでください。誰かのせいにするのではなく、自分と向き合い、努力していける、本当の意味で強い人に成長していってほしいと思います。

最後まで小言みたいになってしまいましたが、皆さんと共に過ごしてきた三年間で、自分も大きく成長することができました。感謝しています。これからのご活躍を心から願っています。

先生方の写真は、卒業生と同年代の頃のものです。